

永田町新潮流

平沢勝栄

俺がやらねば



店員 器映男
電映正
の金
ソウルに
のテレビ
のテサ
の出氏 (A.P)

北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働委員長(金正男)の異母兄にあたる金正男(キム・ジョンナム)氏が暗殺された。なぜ暗殺犯たちはすぐに足がつく方法で犯行に及んだのかなど、この事件にはナゾが多い。

ただ、北朝鮮の国家ぐるみの犯行であることだけは確かだ。正恩氏を少しでも脅かす可能性のある者を北朝鮮は認めないと

いうことだろう。殺害には成功したが、国際社会の反発など北朝鮮が失ったものも極めて大きいといえる。

この異常なテロ国家を相手に日本は拉致問題などを解決しなければならぬ。

日本はこれまで拉致問題について、金被害者の帰国と責任者の



の処罰、それに実行犯の引き渡しなどを求めてきた。拉致は国

中国、北朝鮮…何とも厄介な隣人たち

家ぐるみの犯罪だけにこれら全てに北朝鮮が応じることは考えにくい。完全な解決は「正恩体制の交代」を待たねばならないだろう。

現在の体制下では、政府認定の被害者の引き渡しに絞って交渉せざるをえない。その過程で結果を出すには制裁解除などの譲歩や妥協も覚悟しなければならぬだろう。

正男氏は、2001年に偽造旅券で日本への密入国を図り拘束されている。この直後に私は当時の田中真紀子外務大臣に電

話し、逮捕して徹底的に調べよう要請した。その時の田中氏の返事は「テポドンが飛んできたらどうするの」だった。そして、数日後に日本政府は正男氏を丁寧に北京に送り届けている。

この時に毅然(きぜん)とした対応をとってれば、拉致問題などの行方は変わっていたかもしれない。今考えても残念でならない。

ところで先週、中国の程永華駐日大使の講演会があった。ここでは中国の南シナ海における活動などについて質問が出た。大使の答えは「フィリピンなどが先に軍事基地を作ったことなどから中国は行動に出た」だっ

た。尖閣諸島周辺の中国公船の動きについては「現状を變更しない」という約束を破って、日本は尖閣諸島の国有化に動いた。だから中国も動いた」だった。

しかし、1992年に中国は国内法で尖閣を中国領土としている。そこで、先に動いたのは中国ではないか、と私は質問した。大使の答えは「中国は実際の行動はしていないから日本とは違つ」で、まったく意味不明だった。

中国による南シナ海での埋め立てや拠点構築などの動きは、すべて他国に責任があるとして、日本は何ともやっかいな隣国を持ったものである。

(自民党広報本部長)